

| | | | | | |
|-----|----|----|----|----|------|
| 2校時 | 3年 | ○人 | 算数 | 教諭 | 一斉指導 |
|-----|----|----|----|----|------|

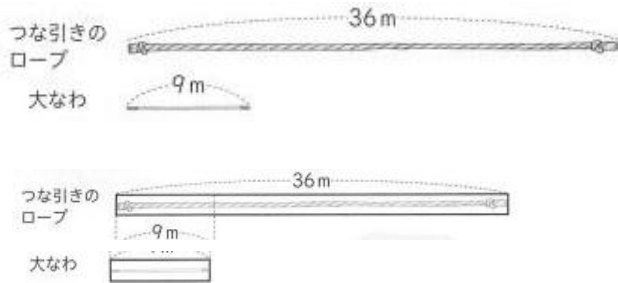
| | |
|---------------|------------------------------------|
| 単元（題材） わり算 | 主眼：何倍かを求める場合も割り算が使えることを理解する。 |
| | 評価規準（観点）：何倍かを求める場面で、除法の式を立てて計算できる。 |

問題

つなひきのロープの長さは36mです。大なわの長さは9mです。
つなひきのロープの長さは、大なわの長さの何倍ですか。

○問われていることが「何倍か」ということを確認し、テープ図を提示する。

(テープ図)



○テープ図を手がかりにして、どんな式を立てたらよいか考えさせる。

めあて

何倍かをもとめるには、どんな計算をしたらよいか考えよう。

○今日の学習のめあてを確認する

考え方

○それぞれの考え方を出させる。

【引き算】
 $36 - 9 - 9 - 9 - 9 = 0$
答え 4倍

【かけ算】
 $9 \times \square = 36$
答え 4倍

【わり算】
 $36 \div 9 = 4$
答え 4倍

まとめ

何倍かをもとめるときもわり算が使える。

○どの考えもテープ図を比べると除法の式に表せることから、何倍かを求める時は除法を使うと便利になることを確かめる。

練習問題

大なわとびで、ちえみさんのはんは21回、たかしさんのはんは7回とびました。
ちえみさんのはんは、たかしさんのはんの何倍とびましたか。

○練習問題をし、定着を図る。